

● 平成 30 年度 研修会 第 2 回 『こどもの感染症対策と小児がん』 ●

講 師：広島大学病院 薬剤部 副薬剤部長 佐伯 康之 先生  
広島赤十字・原爆病院 小児科 部長 藤田 直人 先生

実施日時：平成 31 年 1 月 26 日（土） 13：30～16：00

会 場：広島市西区民文化センター

対 象 者：保育・教育関係者

参 加 者：33 名（養護教諭 11 名、保育士 6 名、教諭 2 名、看護師 3 名、  
保健師 5 名、患者会 4 名、その他 2 名） 担当：広島市

● 講演内容

【講演 1】

- ① 感染経路
- ② 感染対策のポイント
- ③ 風邪症候群・インフルエンザ・  
ノロウイルス



【講演 2】

- ① 小児がん概要、発症率、治療など
- ② 日常生活における注意点  
感染症 内服薬 運動 身体の変化



● アンケート結果より

<参加のきっかけ>

- 「小児がんについて知識を高めたいと思ったため」
- 「感染症のシーズンのため」 「感染症対策を詳しく知りたかった」
- 「担当児童が難病のため」

<感想>

- 「園で流行しているインフルエンザや嘔吐など、対策など改めて知ることが出来た」
- 「血液がん患者に対する注意がなぜ必要なのか、よく理解できた」
- 「二つの講演がリンクしていて学べました」
- 「専門医より新しい情報や事例などを分かりやすくお話いただき、とても参考になりました」

● 相談員より一言

広島市で子ども感染症対策と小児がんの研修会を開催しました。雪の降る寒い週末でしたが、勉強熱心な保育・教育関係者の方に集まっていただきました。インフルエンザの流行が猛威を振るう中、感染症対策にとっても有意義な内容で、藤田先生の講義は注意点の根拠から実例も加えて大変分かりやすく、参加者からも好評でした。相談室所有の書籍を掲示し、そちらも興味を持っていただけました。例年に比べて参加者が少ないのがとても残念な講演でした。

